

生鮮青果流通を革新する 次世代生鮮システムの取り組み

イーサポートリンクのノウハウが生きてきます！

イーサポートリンク株式会社

大証ヘラクレス（銘柄コード:2493）

2007年 8月 2日

◆ 生鮮青果をとりまく環境と問題点	
・生産者側の現状	3
・量販店側の現状	4
・従来の通信手段	5
・問題をイーサポートリンクが解決	6
◆ 生鮮流通は、XML-EDI でどう変わるの？	
・EX:量販店の生鮮青果の調達状況 -現状-	8
・EX:量販店の生鮮青果の調達状況 -XML-EDI導入後-	9
・他社SIベンダーとイーサポートリンクの比較 <従来の通信手段>	10
・他社SIベンダーとイーサポートリンクの比較 <XML-EDI>	11
・XML-EDIのシステムイメージ	12 ~ 13
・イーサポートリンクのXML-EDIシステムのイメージ	14
◆ XML-EDI だけでは足りないものがある！それにイーサポートリンクが応えます！（イーサポートリンクの強み）	
・XML-EDIだけでは足りない	16
・イーサポートリンクが提供する「次世代生鮮システム」の概要	17 ~ 18
・他社にはできないサービスを提供	19
・小売・量販店は商品調達戦略の支援を待っています	20
・イーサポートリンクが商品調達戦略(マーチャンダイジング)を支援	21
・イーサポートリンクの「次世代生鮮システム」で広がる調達先	22
・イーサポートリンクが強さを発揮	23



生鮮青果をとりまく

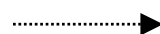
環境と問題点



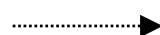
生鮮青果は、工場で作られる製品と違い、計画通りに出荷することは難しいのです

<計画通りに行かない…>

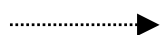
- 思うように育たず、収穫できない
- 1年を通し、安定して生産できない
- 保存がきかない
- 価格が不安定



日照不足や冷害、長雨、台風などの影響



季節の移り変わりがあり、数ヶ月しか出荷期間がない



生鮮青果は、生き物で腐敗しやすい



その時の出来具合で市場相場がぶれる

生鮮青果物の生産や販売戦略は難しい！

こんな状況を変えたい！

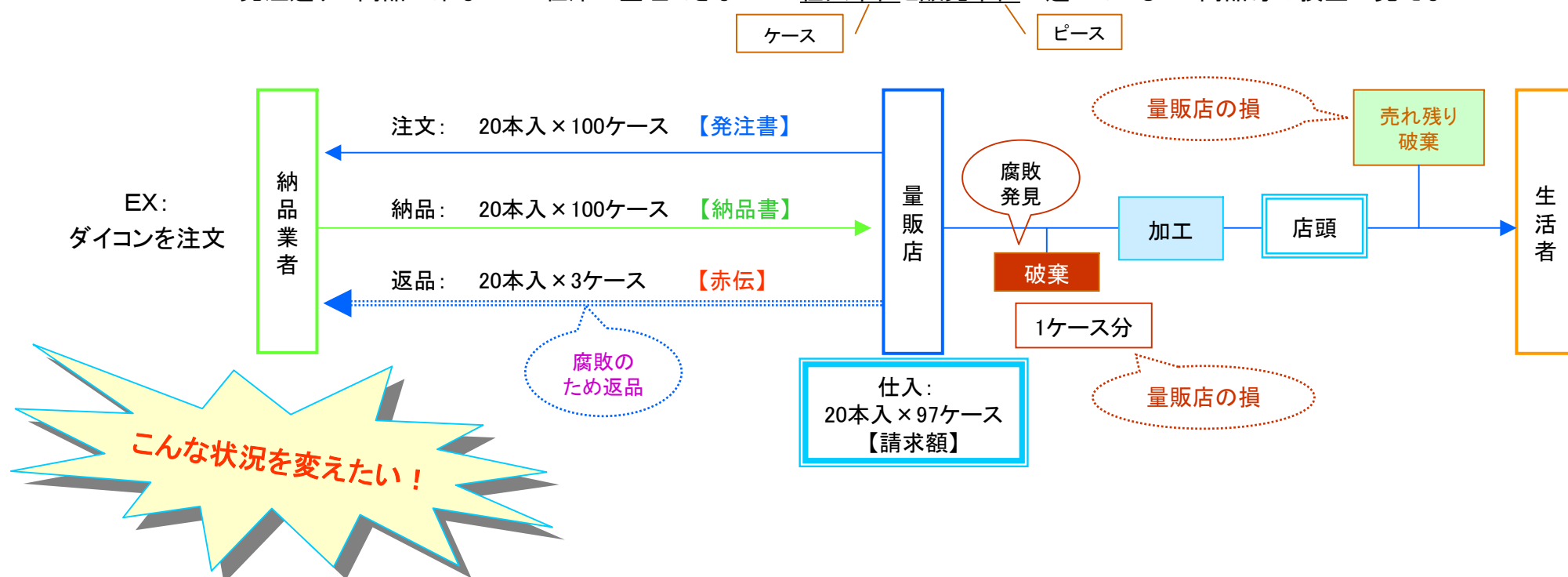
販売支援してくれる企業や、手段があるといいのに・・・

■ 販売に合せた仕入れをしたいが、計画通りにいかない

- * 従来の古く細い回線を使用しているために、発注の×時刻が早い
 - 店舗の発注×切り時刻が早まる / ×切り時刻が早い(15時)ため、その後の売れ方をみた注文ができない / 必要量を適時発送することができない
- <P.8~9参照>

■ 発注と受注のつけあわせが困難で、損益が見えない

- * 請求額は、【納品書】と腐敗等による返品【赤伝】で決まることになる ⇒ 【発注書】=「請求額」ではない
 - 発注通りに商品が来ない / 在庫が整理できない / 仕入単位と販売単位が違っている / 商品毎の損益が見えない



生鮮品の仕入調達戦略を組んでくれる企業や、手段があるといいのに・・・

生鮮流通は、通信手段に大きな問題を抱え、業界関係者は困っています・・・

JCA手順

27年前からの
オンライン手順
「J手順」ともいう

＜日本チェーンストア協会(JCA)が1980年に業界統一規約として制定した手順＞

- アナログ回線のため、低速で通信コストも高い！
- 決められた方式のため、追加・変更が起きたら大変！
- 通信機器の販売・サポートが中止となった

ほとんどのチェーン
ストアが、この「JCA
手順」でやり取りして
いる

Web-EDI*

最近の通信手段

* EDI：昔、企業間において
紙伝票で行っていた情報の
やりとりを電子化したもの

＜一部のチェーンストアが使っている通信手段＞

- 取引先ごとに、それぞれのアクセス先や画面が存在し、使い勝手も様々
- 取り引きにおける統一基準がない

仕入先(中間流通業者)
は、各量販店から指定
された方法によって入力
をしなければならない！



量販店毎のデータのため、
量販店毎のパソコンまで必要

TEL&FAX

＜TEL&FAXによる受発注の手段＞

- 「JCA手順」や「Web-EDI」を使っても、TELやFAXに頼らざるを得ない現実・・・
- 追加注文や、伝票のやりとりを未だにTELやFAXに頼っている

(Q&A資料:P5参照)



**【JCA手順】による限界がせまっています！
インターネットによるEDIのメリットを早く・・・**

それぞれに抱えている問題をイーサポートリンクが解決！

- 生産者側の抱えている問題 ⇒ システム提供と業務受託で販売を支援！



販売戦略

システム提供

多数の小売・量販店との
取り引きを実現

業務受託

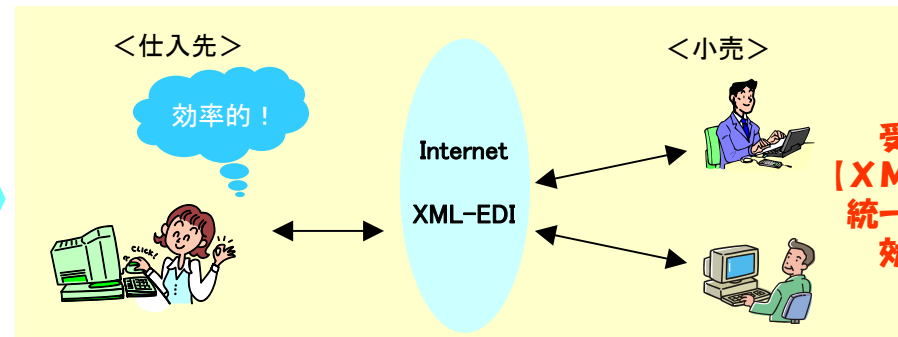
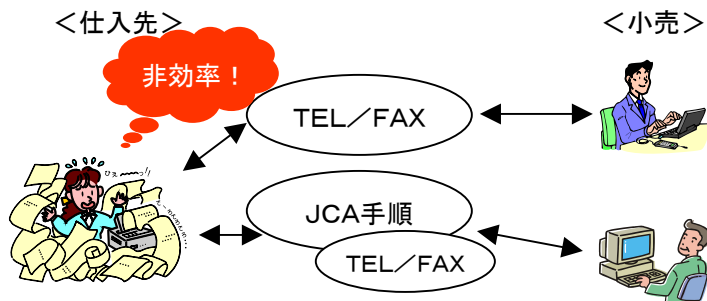
生鮮業界のプロが
人的に対応！

- 量販店側の抱えている問題 ⇒ <次世代生鮮システム>で調達戦略を支援！



多様な調達から仕分け、きめ細かな納品・・・
システムで支援！

- 通信手段の問題 ⇒ <XML-EDI>の導入で、業務を効率化！



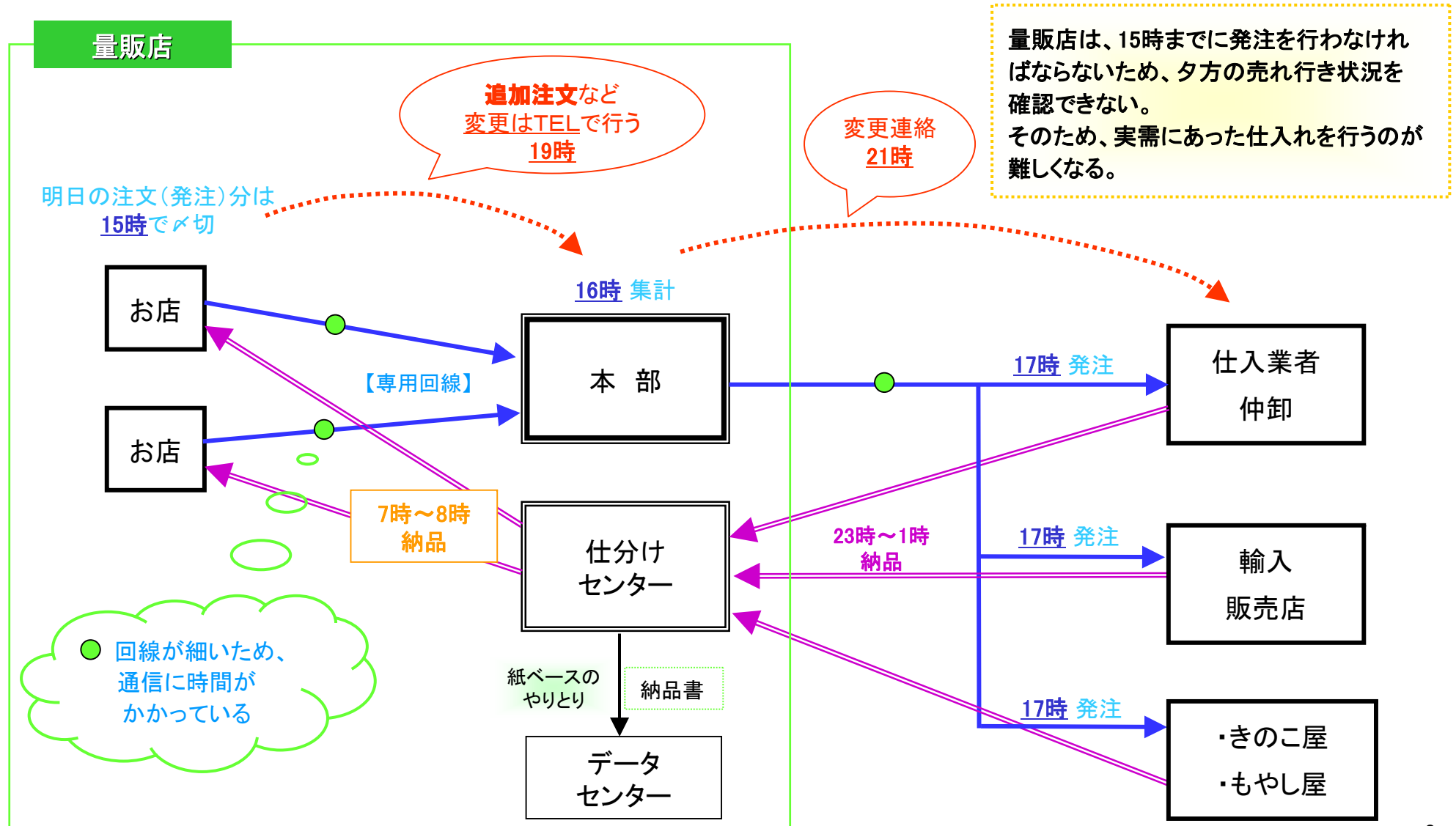
受発注手段が
[XML-EDI]で
統一化され業務が
効率化される

生鮮流通は

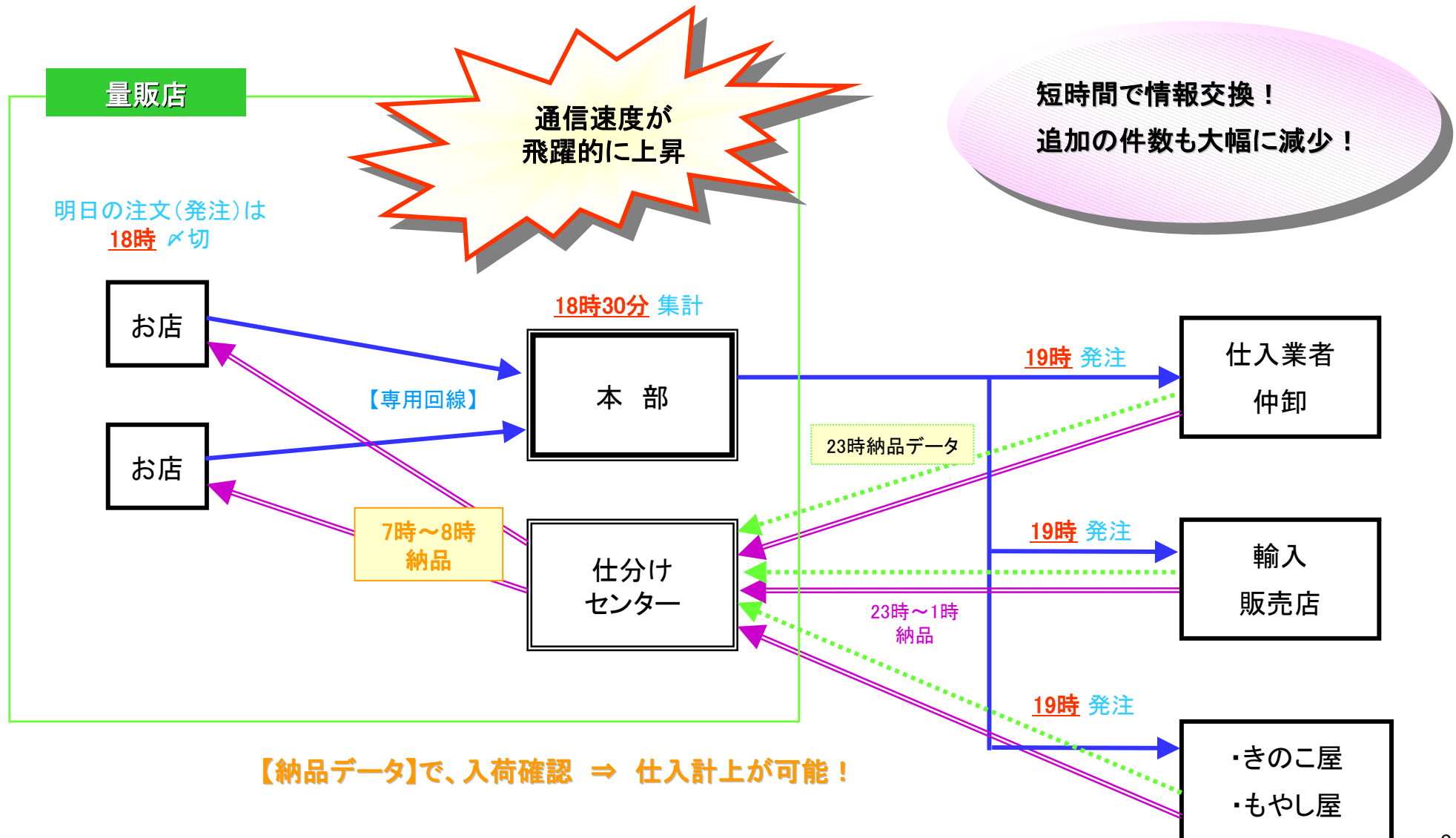
XML-EDI でどう変わるの？



商品の発注から納品までの現状



発注から納品までが、XML-EDIで変わります！



— 従来の通信手段 —

(JCA手順 / Web-EDI)

他社SIベンダー

- ・ 卸・仲卸等、**業者ごと**のシステムを構築
- ・ 流通履歴のトレースは**難しい!**
- ・ 幅広い分野に**システム**を提供
(業務のフォローはない)
- ・ 加工食品をはじめ、**依頼に応じて**様々なシステムを提供

：

イーサポートリンク

- ・ 中間流通を**一気通貫につなぐシステム**を構築
- ・ 流通の**トレーサビリティ**を実現
- ・ **業務を受託**し、システム入力など人的にも対応
(P.19、Q&A資料～P.2参照)
- ・ **クライアント企業**の生鮮流通に特化
(クライアント企業とは、主要4社のこと (中間決算資料～P.7参照))

システム開発において、
大幅に先行!!

しかし、生鮮のノウハウに乏しい・・・

**一気通貫のシステムを開発するが
一部のクライアント企業
のみに提供・・・**

新システムの導入で、他社SIベンダーと同じスタートラインに立ちます！
ここから、イーサポートリンクの強さが生きてきます！！

◆ 経済産業省が進める通信手段の変更

《 XML-EDI 》

他社SIベンダー

- ・ **加工品に対応**できるシステムは構築できる
- ・ 生鮮品の対応には**相当の時間**を要する
- ・ 生鮮流通に対応した付加システムは **??**

生鮮品のような
変動する“生き物”を
相手にするのは難しい！

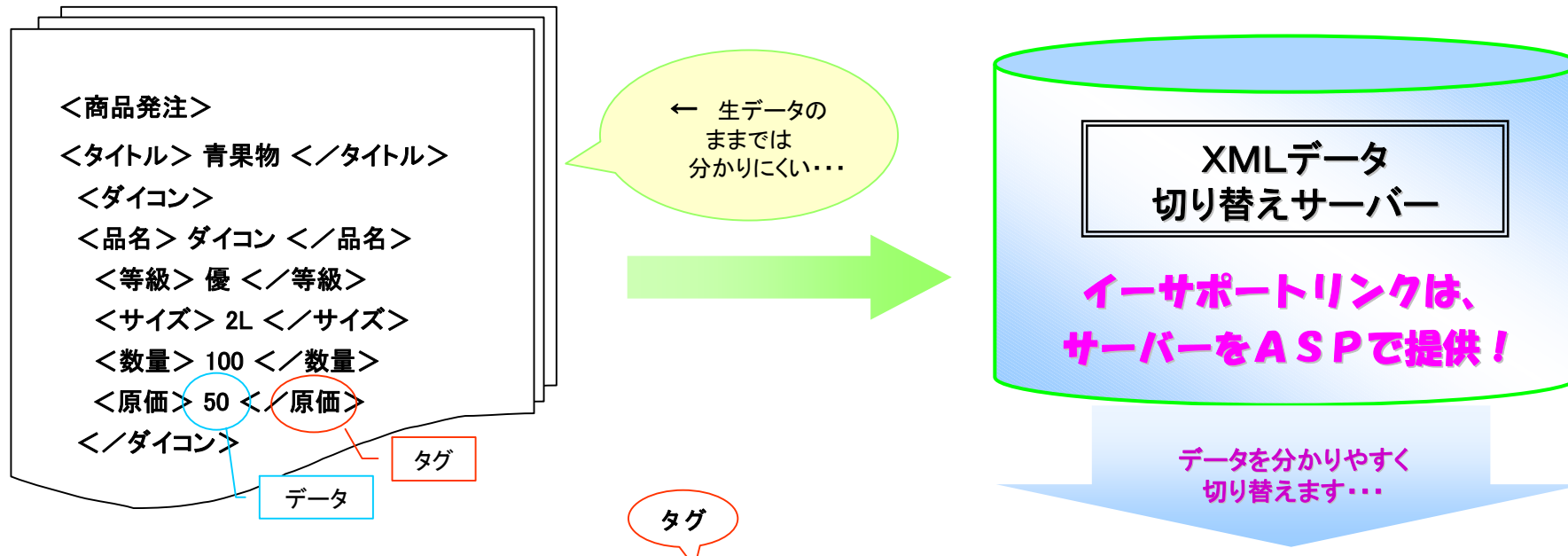
イーサポートリンク

- ・ **生鮮品**の対応が可能
- ・ 生鮮品においては、**既に付加システムを構築**
- ・ 通信システムに加え、「**次世代生鮮システム**」を
(次章にて説明)
提供

**XML-EDIを使った
付加システムで
他社を引き離します！**

“タグ”と“データ”が、分かりやすく設計されているのが、XML-EDIです

— XMLのデータイメージ —



《 帳票サンプル例 》

発注先: AB農産
納品日: 平成19年8月1日

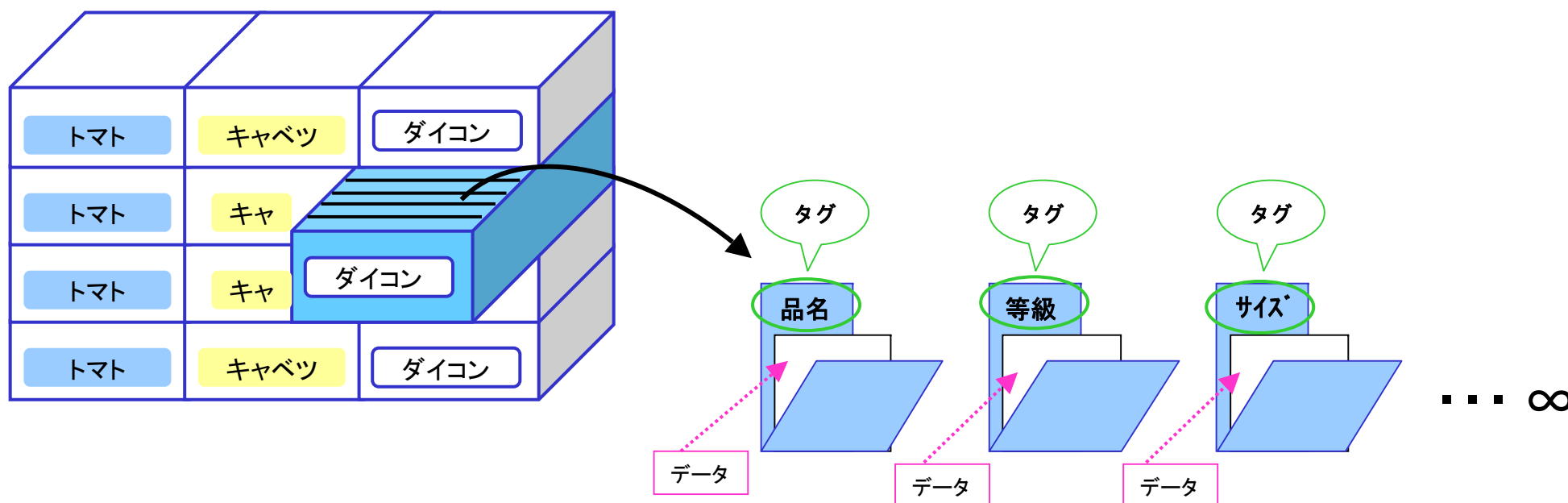
ファイル名	品名	等級	サイズ	数量	原価	コメント
野菜 データ	ダイコン	優	2L	100	50	...
	人参	良	S	200	20	
	キャベツ	良	M	100	40	
	トマト	優	M	500	30	

ここまでは、他社SIベンダーでもできること！
このXML-EDIを使って、イーサポートリンクは他社との差別化を図ります！！

(次章で、イーサポートリンクの強みをご説明します)

XMLのデータは、“タグ付ファイル” & “データ” で送られてきます

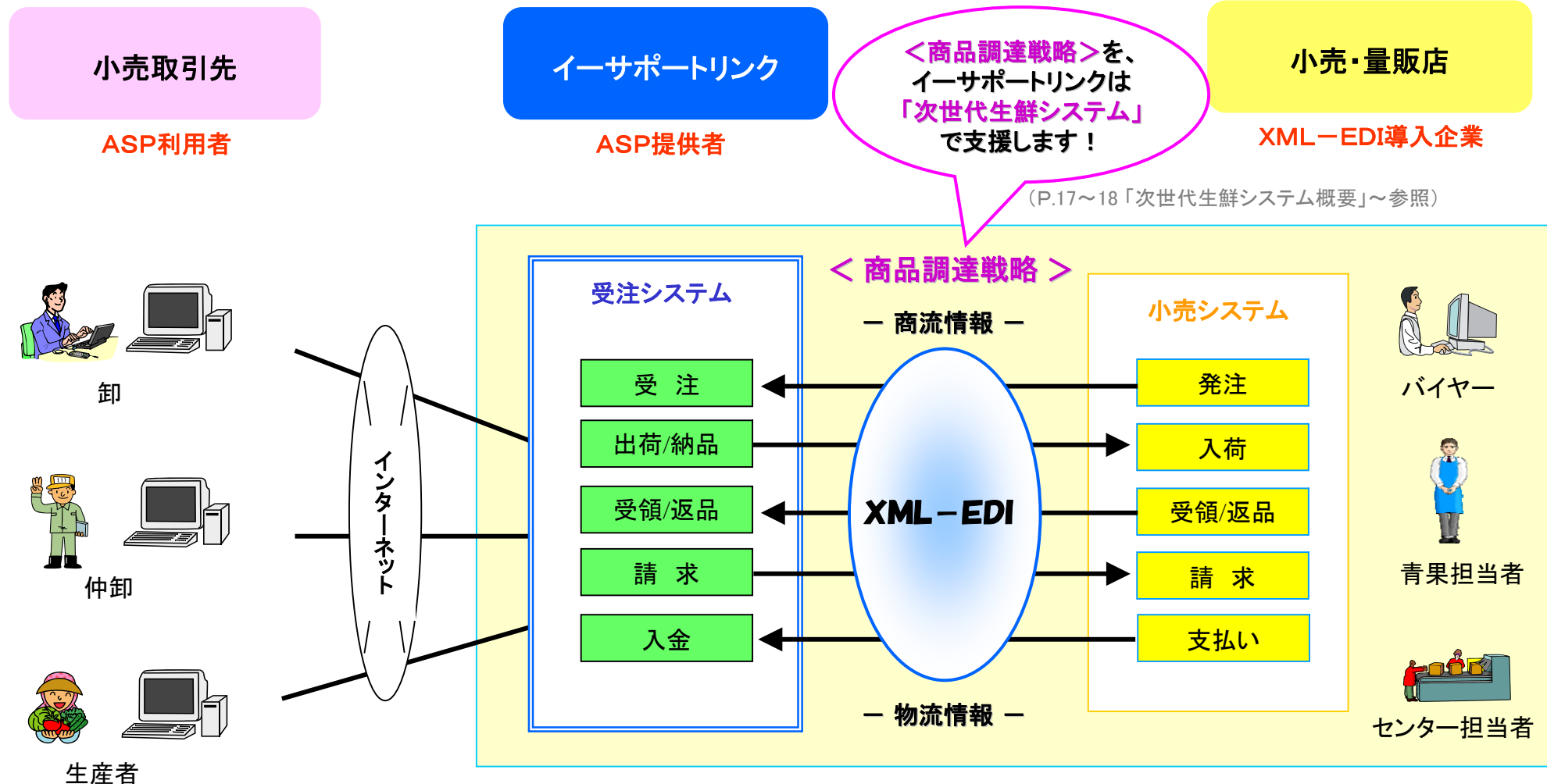
箱ごと、情報がくる



引き出しの中身（データ量）は、無限大！

今までの通信手段と
大きく違うところです

量販店の商品調達戦略（マーチャングイング）は、大きく変わっていきます！



イーサポートリンクは、商・物流対応システムの提供で強かに支援します！

**XML-EDIだけでは
足りないものがある！
それにイーサポートリンクが
応えます！**



イーサポート
リンクの強み！

イーサポートリンクは、XML-EDIに生鮮システムを付加します！

・・・生鮮流通に係る人たちは、困っています・・・

- コード化や、コード体系の構築が難しい
- 生鮮品は、産地、等級、サイズ等、属性情報が多い
- 天候に左右され、日々の納品がブレる
- 生産者は中小農家で、信頼できる出荷団体が少ない
- システム運用の経験が乏しい

だから、イーサポートリンクが必要！

フロの判断とノウハウを活かし、

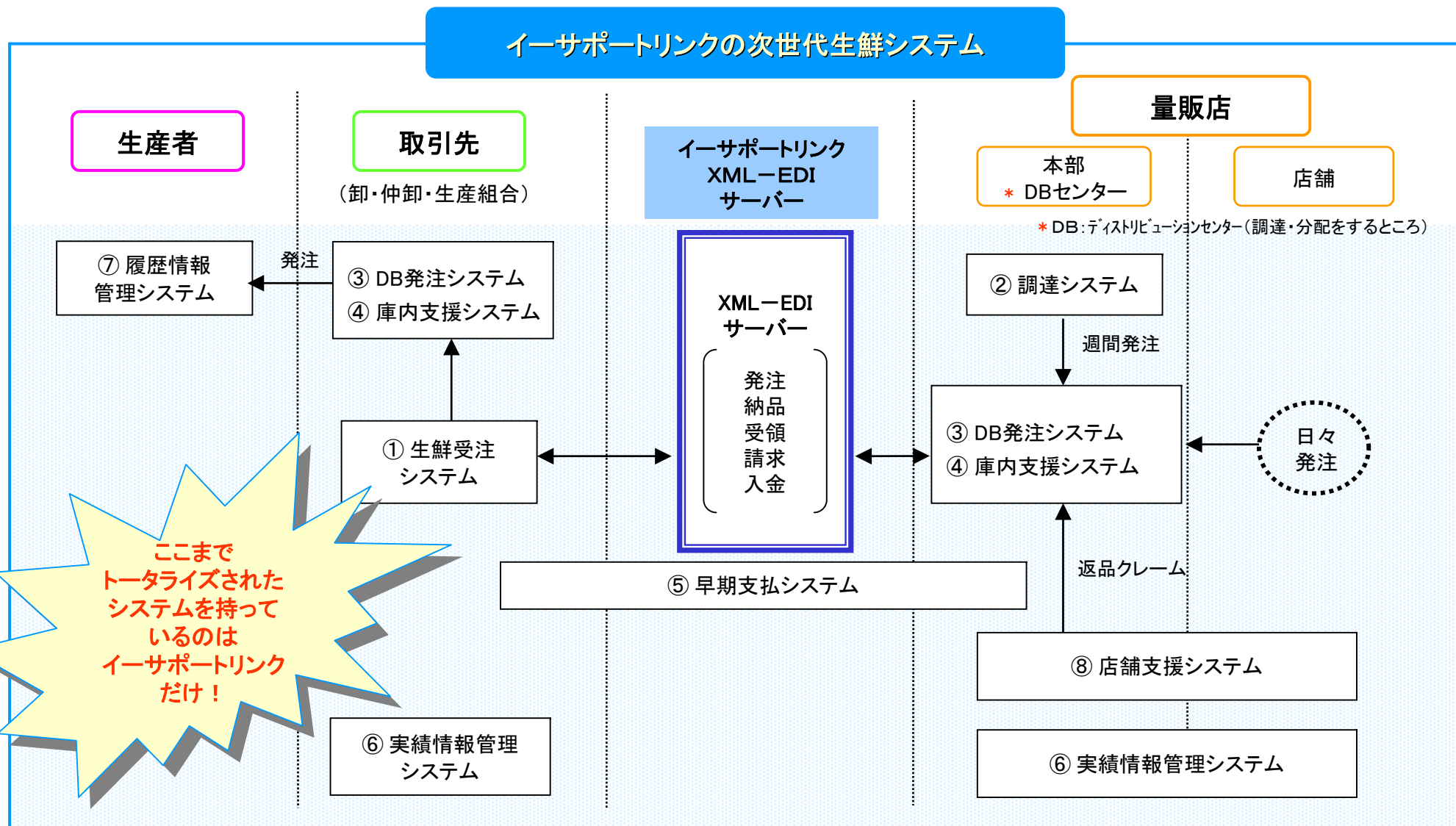
システム(ASP)と業務受託(BPO)で

解決します！

イーサポート
リンク最大の
強み！

イーサポートリンクは、XML-EDIをベースに、
新システム「次世代生鮮システム」を構築中！

それぞれの立場に応える商品調達戦略(マーチャндаイジング)をイーサポートリンクが支援します！



7つのシステムで「次世代生鮮システム」を構築中！ 商品調達戦略を支援します！

ここが
XML-EDI

① 生鮮受注システム

… 受注業務(受注・出荷・受領・請求・入金)を、ASPで提供

② 調達システム

… 計画より調達のシミュレーション・調整を行い、商談・予約発注を行う

③ DB発注システム

… 量販店本部からの予約発注と店舗からの日々の発注と突合せ・手配を行う

④ 庫内支援システム

… 入庫・検品、分荷、出荷等の庫内作業の支援を行う

⑤ 早期支払システム

… 受領、入金照合機能により、仕入先へ市場決済と同等の支払いを行う

⑥ 実績情報管理システム

… 販売と仕入情報を結びつけ、商品の基礎情報を管理

⑦ 履歴情報管理システム

… 生産者の栽培実績情報や、店舗までの流通履歴を管理

イーサポートリンクの最大の強み、「業務受託(BPO)」で機能を充実させます！

1. **受発注代行機能**
2. **商品手配代行機能**
3. **在庫管理、引当代行機能**
4. **売掛、買掛、消し込み機能**

**24時間・365日のサポートと万全のバックアップ体制で
安心のデータ運用を提供いたします！**

小売・量販店のバイヤーや、青果担当者は、困っています…

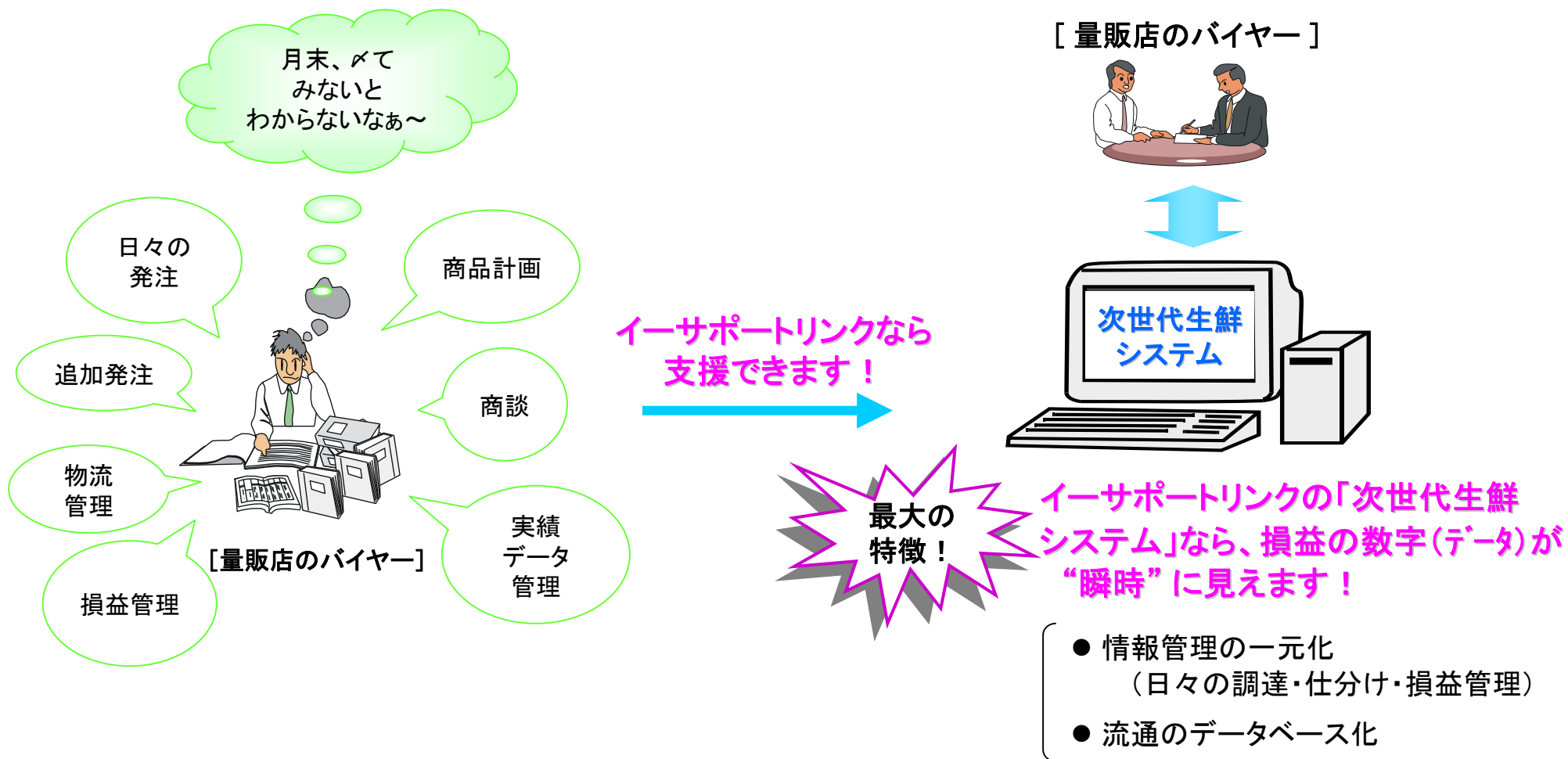


「マーチャンダイジングを支援できるシステムなんて、どこのSIベンダーでもやってるでしょ!？」

いいえ！
だから困ってた！！

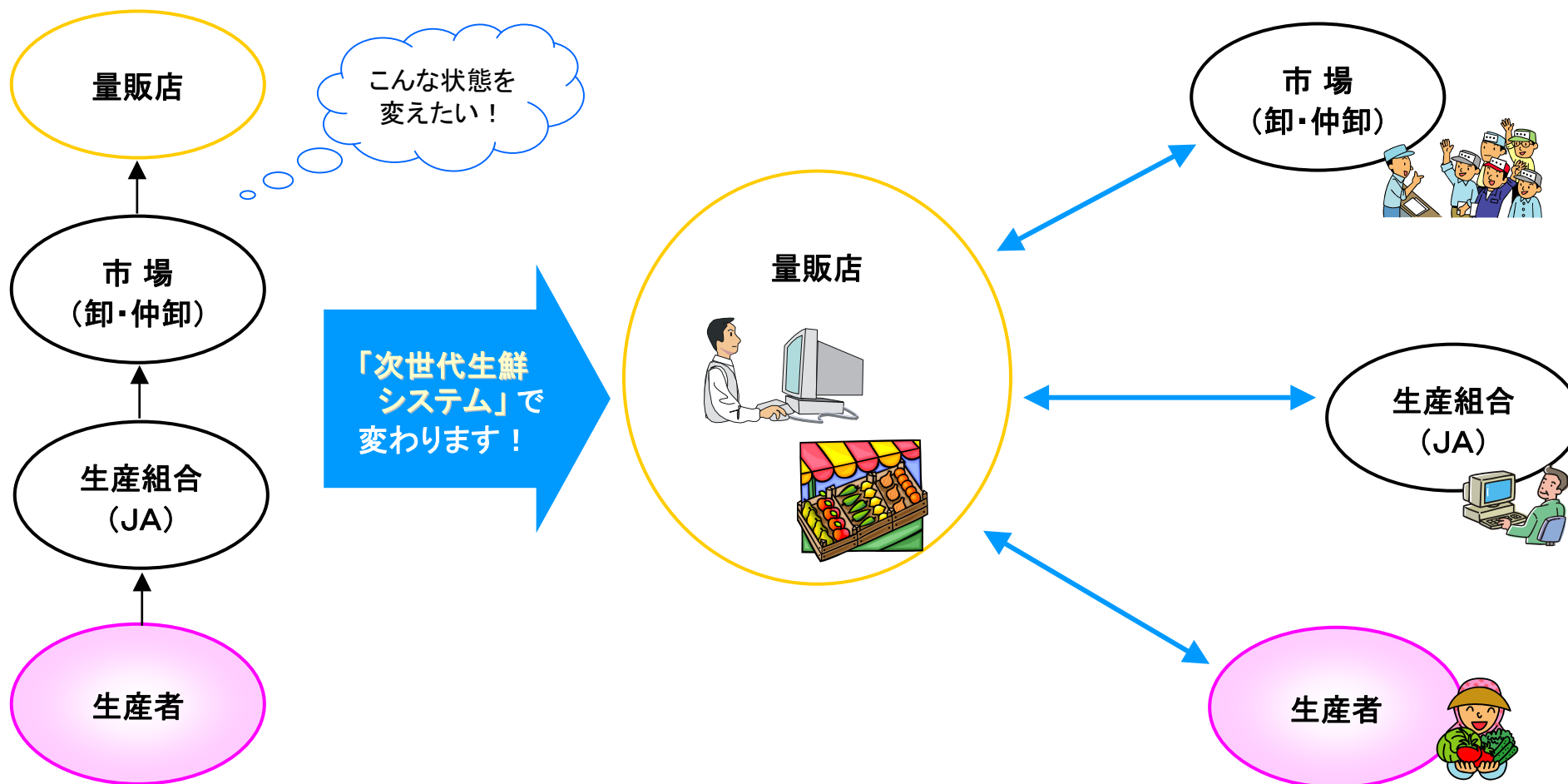
イーサポートリンクなら、解決できます！
トータルライズされたシステムで、イーサポートリンクが支援します！

日々追われている商品調達も、イーサポートリンクの「次世代生鮮システム」が支援！



調達支援ができるのも、生鮮流通を熟知している
イーサポートリンクだからできること！

「次世代生鮮システム」は、生産者の量販店への“直接販売”も可能にします！



イーサポートリンクは「次世代生鮮システム」を武器に多くの量販店へアプローチし、業容を拡大していきます！

今、生鮮流通業界が変わっていくために

必要なもの・・・

それは、

「次世代生鮮システム」と「業務受託（BPO）」

他社との差別化を
図ります！

商品調達戦略を
根本から考え
支援できる
システムです！

イーサポートリンクの
最大の強み！

生鮮業界に
精通したノウハウを
活かし、プロの判断で
業務を代行します！

〔・Q&A資料～P.2参照
・「バナナ物語」参照〕

**MD（マーチャンダイジング）の
基本ポリシーは、
「安全・安心・おいしいもの」の提供！**

**イーサポートリンクは、
生活者と生産者をつなぐための仕組みを構築し
事業を展開してまいります！**

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

【本件に関するお問い合わせ】

イーサポートリンク株式会社 社長室（IR担当）

TEL: 03-5979-0784 E-mail: IR@e-supportlink.co.jp